

新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」 地域で子どもを育むための交流会

I 概要

- 1 日時 令和元年11月12日（火）午後1時30分～午後4時15分
- 2 会場 設楽町役場 議場
- 3 参加者
 - ・協議会委員 9名
 - ・協議会以外の参加者 24名（行政関係3名、PTA関係5名、学校関係6名、子育てネットワーク2名、家庭教育・子育て支援関係8名）合計33名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時55分
優良家庭教育推進組織等顕彰



【表彰の様子】

設楽町立津具中学校PTAは、生徒数21名、家庭数18戸の小規模校です。人間性豊かな生徒を育てるため、家庭教育力の向上を願い、地域の諸団体や学校と連携しつつ、地域や学校の諸活動へ主体的、積極的に取り組まれています。

- 2 実践活動発表 午後2時00分～午後2時30分

津具中学校PTAは次のような活動を実践しています。

- (1) 親子で環境美化活動を行い、地域の美化に貢献するとともにふるさと津具への愛着を一層強める。
- (2) 部活動参観を行い、部活動の様子を知ることによって生徒の成長を支えていこうとする思いを醸成する。
- (3) 親子調理教室を開催し、健康な食生活を推進し、親子のふれあいを深める。
- (4) 学校保健委員会の取組に協力し、健康な生活が送れるようにする。
- (5) 体育大会に参加し、共に楽しみ、地域を盛り上げる。
- (6) 合唱発表会に参加し、共に楽しみ、地域に感謝の思いを伝える。
- (7) 地区家庭教育推進協議会の活動に参加し、家族のふれあいを深める。等の活動を実践しています。



【実践活動発表の様子】

3 グループ協議、情報交換会 午後2時50分～午後4時25分

<テーマ>

「参加したくなるような親の学び場づくり」
「地域における家庭教育支援活動」



【グループワークの様子】



【グループワークの報告】

参加者の意見から

グループ①

子育てと同時に親育ても重要なのではないか。親育ても直接的に働きかけると抵抗があるので、子供の活動と一緒に参加してもらう中に、交流の場を設けて、親同士のつながりを作りながら、悩みを解決していくような取り組みを考えてはどうか。

グループ②

時代に合った支援の場の内容を考えてはどうか。子育てする親と子育て支援者が、共に得意分野を生かして互いに学び合う子育て支援の場、例えば、若い親からスマホアプリの使い方を、支援者から子供のあやし方を教わるというような取組はどうか。

グループ③

地域コミュニティでのつながりが重要であると考え。強力な地域コミュニティづくりをやっていくことで、親も子も一緒に参加し、親同士のつながりもできていく。昔ながらの学校を中心とした連帯感ある地域づくりに取り組んでいってはどうか。

グループ④

子供たちの電子メディアとの付き合い方が課題である。目的をしっかりと理解させた上で、電子メディアを使用しないノーメディアデーと家族と一緒にスポーツ観戦やゲームをするメディアデーを使い分けて、コミュニケーションの時間を確保してはどうか。

グループ⑤

会に参加するのは、意識の高い保護者という傾向があるので、参加者が得た情報や知識を SNS 等で拡散してもらうのはどうか。また、地域行事等への参加を面倒に感じる親もいるので、子供に情報を伝え、子供を動かすことで一緒に参加してもらってはどうか。

グループ⑥

共働きの親が増え、子育ては祖父母に任せている家庭も増えている。親、祖父母それぞれの立場に合った教育が必要ではないか。親同士の信頼関係も薄くなっているため、親同士の意見を交換する場を設けて関係を築き相談しやすい環境を整えてはどうか。

4 閉会行事 午後4時10分～午後4時15分

Ⅲ 課題や今後の取組について

子育てはもちろんであるが、親を育てることの必要性を感じさせる意見が多く見られた。行事や研修に参加しない親に必要な情報や知識を伝えるために、まず、親同士のつながりを築き、広めていく必要がある。その関係づくりの場・方法を考えていきたい。